

「はぐくむ」こと

志賀町教育委員会教育長 六田 實

志賀町の子どもたちを、次世代を支える社会の一員として、「知育・徳育・体育などの要素をバランス良く育てること」が公教育の使命と考えます。

教育は、子どもたちの将来を見据えて、可能なかぎり一人ひとりの個性を尊重し、きめ細かく育てなければなりません。

少子化と言われて久しい現在、数少ない子や孫を「目に入れても痛くない」思いでかわいがり、慈しみ育てるのは人情として当然の振る舞いです。

しかし、一方で子供たちの人格を第一に考え、次代を担う社会人育成の観点から子や孫の成長を考えると、私たち「大人」に課せられた子育ての意味は重要です。

このことは、時には親として、地域の大人として、心ならずも泣いて厳しいしつけをすることこそが、真に子どもたちの自立を助け、将来性を育むことにつながると思います。

一時は子どもや孫に疎まれるかも知れませんが、勇気と愛情をもって継続することで、大人が大人になって感謝されることは間違いありません。

最近ほとんど耳にすることはありませんが、「獅子は我が子を千尋の谷に突き落とす」の真の意味をもつ一度考え直してみることが、意義のあること

教育長ホットニュース

ではないでしょうか。
「子は親の背中を見て育つ」と言われますが、規範意識がゆるくなっていると言われる今こそ、私たち大人の振る舞い、きちんとした生き方を子ども達に示すことが肝要です。
特別なことではなく、大人として「普通に生きること」の大切さを通じ、子ども達により影響を及ぼしましょう。

歩くことの大切さ、再認識

「子どもたちを歩かせよう」
昨年、10月27日付の日本経済新聞に掲載された記事です。

東京都のデータでは1日の歩数は30年前の2万7000歩に比して、最近では1万3000歩と半減しているとのこと。

子どもが歩かなくなると、学習意欲や生活習慣の悪化につながるということが最近の研究で明らかになってきたとのこと。

東海大学体育学部の小沢教授によれば、あまり歩かない子供は「体調が悪い」「寝付けない」「便秘になる」「やる気が出ない」「学校に行きたくない」などの問題を抱える割合が多くなるとのこと。

また、歩かないと「浮き指」の状態につながり、不安定で姿勢の悪化や肥満を招きかねない。

幼児期から小学校低学年までは、体を充分に動かすことが重要なこととす。

教 育 志 学

志賀中学校

開校4年目を迎えた本校は、各学級の教室の他に、全ての教科が独自の教室をもつ、教科教室型となっております。生徒はそれぞれの時間に各教科の教室へ移動し、学習を行います。

校区の小学校7校から集まる生徒は、全校で現在374人。中学生という、多感なこの時期、自立へ向かう途中の生徒は揺れ動きながら、それでもたくましく成長しようとしています。体育面でも文化面でも本校ではもちろんのこと、志賀町としても過去に前例のないような数多くの成果を残しています。

本校教育目標

高い志をもち、心豊かで創造性に富む、心身ともにたくましい生徒の育成をめざす。

校訓 「自主 自律 創造」

本校の理想とする生徒像

- 自ら学ぶ意欲を持ち、知性豊かな生徒
- 豊かな心を持ち、自他を尊重できる生徒
- 創造的で、豊かな発想を持つ生徒

本年度の重点目標の最初に「生徒・教職員・保護者が一体となり、生徒の夢や目標の実現に向けた日々の実践を重視し、さらに発展させることで活力ある学校を築く」を基盤として掲げました。

日々行われている生徒の学習活動や教師による各種の指導、学校行事やPTA活動など、生徒の夢や目標の実現と密接に関連していることを、生徒も教職員もしっかり意識して取り組んでいくためです。

毎日のいろいろな活動を大切にすること



校長 藤田 勇進

自ら学ぼうとする力の育成

学びの最終的な目標は、生徒自らが学ぼうとする力を身につけることです。生涯にわたる学びの基盤作りが中学校の役割です。まず、各教科でつきたい力をはっきりさせること。それを学びの主体である生徒に分かりやすく伝えることから始めました。具体的には「学習の手引き」を作成し、全校生徒に配布し、説明を行いました。

また、自ら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などのものになる力を、それぞれの教科で育成することをめざしました。本年度は研究発表会もあり、仲間との学びあいを通して、より主体的な学習につながっていくよう、現在も取り組みを継続しています。

自他を尊重する力の育成

本校ではさまざまな教育相談活動を通して、生徒・保護者の悩みや問題の解決に努めています。人との関わりを苦手とする生徒や相手の気持ちをしっかりと考えないで不用意な言動をとってしまう生徒も中にはいるようで、課題ともなっています。

教育効果を最大限に上げるには教師と生徒・保護者、生徒相互の共感的人間関係が最も大切であり、すべての教育活動の基盤となります。

自他を尊重する力の育成にむけて、今年度中に志賀中PTA憲章制定を検討し、生徒・教職員・保護者が一体となって理想とする生徒像をめざしていきます。

山端 瞬	谷口 穂香	稲岡 美央	大崎 暖真	林 栞帆	成田 紗菜	栗原 志歩	山野 柗聖	川畑 蓮	平野 優香里	氏名
久博 美文	真浩 美一	裕信 美夫	直祥 子司	和勝 枝嗣	晶英 子治	由克 己美子	慎一 富士枝	大彩 貴	裕幸 太郎美	保護者名
西山台	酒見	高浜町	西海風無	高浜町	梨谷小山	高浜町	高浜町	赤住	町	本籍または住所

赤ちゃん
10名

梅田 英敬	福田 ぞと比	氏名	館 奈緒美	吉田 桂介	森 千春	森久 光太	毛利 由佳	牧野 総介	丸井 恭子	三谷 晃央	浦 育恵	林 知宏	氏名
81歳	96歳	年齢	館開	七尾市	能美市	富来領家町	高浜町	高浜町	かほく市	相神	神代	金沢市	本籍
里本江	印内	本籍または住所	七尾市	七尾市	富来領家町	高浜町	高浜町	相神	相神	金沢市	金沢市	新本籍	

結婚
5組

戸籍のまど

【お断り】
このコーナーは、当町で届け出をし、希望者のみ掲載しています。他市町村での届け出を予定し、掲載を希望する場合は届出書の余白に「広報掲載希望」とお書きください。

(12月受付分)

町の人口

(12月未現在)

総人口	23,428人
男	11,083人
女	12,345人
世帯数	8,096世帯

野崎 清子	川田 清松	松田 忠雄	殿垣内トシ子	油谷 外吉	松本 龍藏	河原喜興一	関口扶美江	東 正昭	笠間ハツエ	泉 みつひ	岡崎 六松	酢谷 泓	岡崎 章	吉岡松太郎	大葉 文雄	高橋 愛誠	長原 庄治	裏間 吉和	福田ゆき乃	前田 勉	寺西惣四郎	澤田 ヤヲ	中橋 君子	石川みゑ子	館岡カヅ子	西村大治郎
82歳	98歳	81歳	79歳	85歳	91歳	88歳	59歳	64歳	95歳	93歳	87歳	80歳	57歳	79歳	91歳	91歳	89歳	89歳	86歳	61歳	93歳	97歳	86歳	89歳	92歳	86歳
館開	富来領家町	富来領家町	矢駄	高浜町	富来領家町	富来領家町	酒見	北吉田	赤住	富来領家町	仏木	矢駄	赤住	上棚	高浜町	給分	酒見	米町	館開	大福寺	館開	館開	館開	富来高田	館開	赤崎

2月の 休日在宅当番医 休日夜間当番薬局

※診療時間は、午前9時から正午までです。受診の際には、事前に病院へ電話連絡してください。
※休日夜間当番薬局 時間/午後8時~午前8時

	当番医名	住所	電話番号	当番薬局	住所
6日(日)	河崎医院(外・胃腸・内)	志賀町高浜町	32-0019	笠原健招堂薬局	志賀町富来領家町
	金田内科医院	羽咋市千里浜町	22-2864		
11日(祝)	平場内科クリニック	羽咋市中央町	22-0238	プリスケア薬局	志賀町高浜町
	松沼医院(内・小児)	宝達志水町敷波	29-3188		
13日(日)	松江外科胃腸科医院	羽咋市松ヶ下	22-7888	さくらの薬局店	羽咋市的場町
	保志場医院(内)	羽咋市的場町	22-0125		
20日(日)	福田整形外科医院	羽咋市釜屋町	22-6311	はくい薬局	羽咋市的場町
	保志場内科クリニック	羽咋市的場町	22-0807		
27日(日)	新谷医院(胃・循)	志賀町末吉	32-3311	くすりのまき薬局	宝達志水町今浜
	四蔵医院(内)	志賀町仏木	37-1030		



祝 成人 おめでとうございます



広報
しか
2

発行 毎月1回発行
住所 〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千古番地1
TEL (0767) 321-1111
Eメール shika@town.shika.lg.jp
編集 志賀町情報推進課